

本年度上半期 市の財政状況を公表 予算の35%が支出済み

市民の皆さんに、より一層、市政への理解と関心を深めていただくため、市では、定期的に市の財政状況を公表しています。今回は、本年4月1日から9月30日までの半年間の予算の執行と地方債、基金の状況をお知らせします。

□問い合わせ 財務課（内線352）

30億1千万円を増額補正

下の表1「補正予算の状況」のように一般会計は27億1067万円（繰越明許費の10億4724万円含む）、特別会計は2億7105万円、企業会計は2939万円の増額補正を行いました。

総額では、一般会計が290億1067万円、特別会計は合計で153億8245万円、企業会計は74億5261万円になりました。

補正予算の主な内訳は、6月には、体験型の都市農村交流を推進するためのイワクラ公園整備工事などに4872万円を計上した他、職員給与費などの削減を行って基金に

7835万円の積立を行いました。

9月には、リニア中央新幹線関連の道路概略設計、明智まちづくり事業の明智川親水空間整備事業、三郷町地内の市道改良、19棟の空家市営住宅の解体工事、減債基金への積立など13億1770万円を計上しました。また、9月15日から16日発生の台風18号豪雨災害復旧事業に2億9700万円を追加で計上しました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計や介護保険特別会計で前年度精算による返還金、公共下水道事業特別会計で竹折処理区の管渠照査業務などの増額補正を行いました。

市税の収入率は62%

一般会計の収入の状況を表2に、支出の状況を表3にまとめました。

収入については、市税収入が、予算額に対して62・2%納入されています。

自動車取得税交付金や株式等譲渡所得交付金、市債は、年度末に納入される予定で、国庫支出金や県支出金は、事業の完了後に納入される予定のため、非常に低い収入率となっています。

支出については、定期的に出る人件費や公債費（借金を返済するお金）は、支出率も順調ですが、衛生費、農林水産業費、土木費は、建設事業などを多く行っているため、事業を完了したからの支出が多くなるため、支出率は低くなっています。

また民生費は、国民健康保険や介護保険事業などの繰出金が下半期に支払われることから、支出率が低くなっています。

一般会計は、市全体の歳入、歳出の状況と同様に、収入率、支出率とも例年通りとなっています。

表2 一般会計収入の状況 (万円)

科目	現計予算額	収入済額	収入率
市税	67億5,695	42億0,351	62.2%
地方譲与税	3億0,190	8,291	27.5%
利子割交付金	1,530	621	40.6%
配当割交付金	1,150	468	40.7%
株式等譲渡所得割交付金	220	0	0.0%
地方消費税交付金	5億1,360	2億9,654	57.7%
ゴルフ場利用税交付金	1億1,330	4,981	44.0%
自動車取得税交付金	9,680	2,219	22.9%
地方特例交付金	2,620	2,531	96.6%
地方交付税	96億3,431	68億5,555	71.2%
交通安全対策特別交付金	580	344	59.3%
分担金及び負担金	3億4,928	1億1,538	33.0%
使用料及び手数料	4億1,469	1億7,437	42.0%
国庫支出金	23億0,876	5億8,286	25.2%
県支出金	18億3,391	2億4,491	13.4%
財産収入	1億0,058	4,193	41.7%
寄付金	11	152	1,381.8%
繰入金	2億5,084	0	0.0%
繰越金	15億0,024	15億0,024	100.0%
諸収入	6億4,770	1億9,889	30.7%
市債	41億2,670	0	0.0%
合計	290億1,067	144億1,025	49.7%

表3 一般会計支出の状況 (万円)

科目	現計予算額	支出済額	支出率
議会費	2億1,403	1億0,814	50.5%
総務費	56億9,197	13億4,425	23.6%
民生費	67億6,160	23億0,710	34.1%
衛生費	33億3,056	7億7,590	23.3%
労働費	5,080	5,075	99.9%
農林水産業費	13億6,199	2億7,054	19.9%
商工費	5億4,001	2億5,688	47.6%
土木費	24億2,415	4億9,435	20.4%
消防費	10億0,647	4億1,840	41.6%
教育費	30億8,209	11億7,079	38.0%
公債費	42億2,000	20億7,658	49.2%
予備費	3,000	0	0.0%
災害復旧費	2億9,700	0	0.0%
合計	290億1,067	92億7,368	32.0%

表1 補正予算の状況（9月30日現在）

内 訳	当初予算額	補正額	合計
一般会計	263億0,000万円	27億1,067万円	290億1,067万円
特別会計	151億1,140万円	2億7,105万円	153億8,245万円
企業会計	74億2,322万円	2,939万円	74億5,261万円
合計	488億3,462万円	30億1,111万円	518億4,573万円

※補正額には昨年度からの繰越明許費を含む。企業会計の予算額は支出予算

一般会計50%収入済み

一般会計では、収入率49・7%、支出率32・0%で、特別会計合計は、収入率32・8%、支出率39・0%。企業会計は、収入率31・2%、支出率36・1%となっています。

一般会計の支出では、建設事業の工事費や委託料が、事業完了後に支出されるので、上半期の支出率は低くなっています。

特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業、公共下水道事業、簡易水道事業などの特定事業の会計です。収入では、国や県の補助金、市債が事業完了後の収入、一般会計の繰入金が年度末の収入のため、収入率は低くなっています。

企業会計には、水道事業、病院事業、介護老人保健施設事業、診療所を運営する国民健康保険診療所事業、介護老人福祉施設事業の五つがあります。水道施設の建設事業費や、病院の施設改修事業費、医療機器などの建設事業費などが、一般会計と同じように支出率は低くなっています。

市の借金は530億円

市債の状況を表4に、基金の状況を表5にまとめました。

本紙11月1日号で平成24年度末の市債の状況をお知らせしましたが、本年度上半期では、23億5653万円を返済し、9月30日現在の借入残高は、一般会計、特別会計、企業会計まで合わせて529億7890万円、市民1人当たりでは98万5746円となっています。

一方、9月30日現在の基金は、28億1233万円の財政調整基金、31億9845万円の地域振興基金など一般会計に積み立てる基金で148億2077万円でした。

他に運用する基金として、公共事業用地の先行取得を行う土地開発基金や奨学資金を貸し付ける奨学資金貸与基金などがあり、土地代金や貸付金を含め、運用基金総額は12億7978万円でした。

一般会計と特別会計、企業会計まで含めた基金総額は、169億9797万円。市民1人当たり31万6271円となりました。

表4 市債の状況

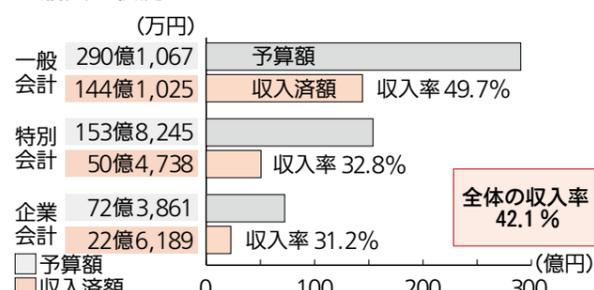
区分	現在高	市民一人当たり
一般会計	350億5,408万円	65万2,230円
特別会計	145億0,189万円	26万9,828円
企業会計	34億2,293万円	6万3,688円
市債総計	529億7,890万円	98万5,746円

表5 基金の状況

区分	現在高	市民一人当たり
積み立てる基金	154億9,980万円	28万8,395円
一般会計の基金	148億2,077万円	27万5,761円
特別会計の基金	6億7,903万円	1万2,634円
運用する基金	12億7,978万円	2万3,812円
企業会計の基金	2億1,839万円	4,064円
基金総計	169億9,797万円	31万6,271円

※人口は9月30日現在の53,745人を基準。端数処理のため金額が合わない場合があります

＜歳入の状況＞



＜歳出の状況＞

